

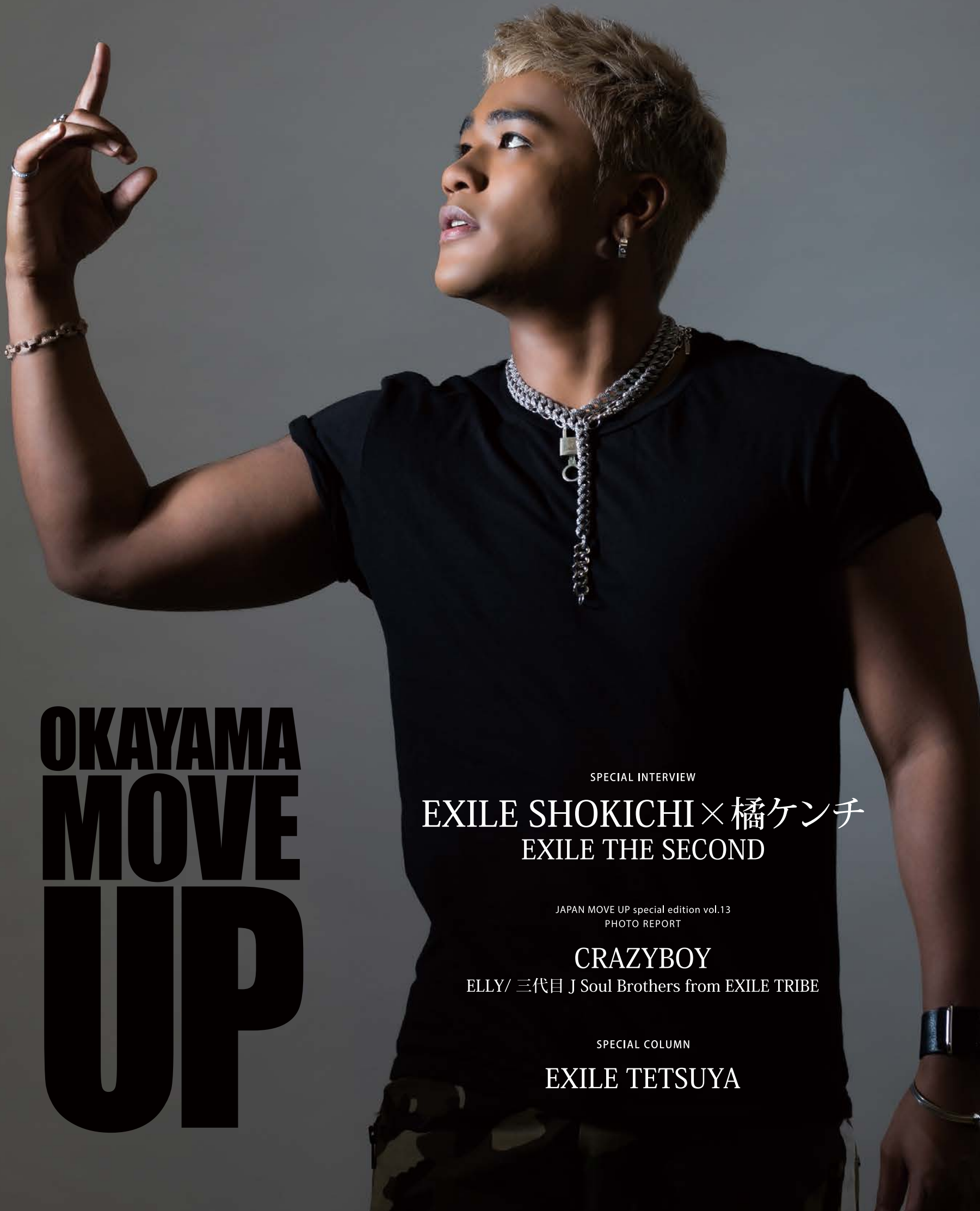
岡山から日本を元気にするフリーペーパー

FREE 岡山ムーブアップ vol.28
OCT 2017

SPECIAL FRONT INTERVIEW

CRAZYBOY

ELLY / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE



OKAYAMA
MOVE
UP

SPECIAL INTERVIEW

EXILE SHOKICHI × 橘ケンチ
EXILE THE SECOND

JAPAN MOVE UP special edition vol.13
PHOTO REPORT

CRAZYBOY

ELLY / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

SPECIAL COLUMN

EXILE TETSUYA



SPECIAL FRONT INTERVIEW

CRAZYBOY

ELLY / 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE(以下:三代目)のメンバーとしてデビュー後、その卓越したダンススキルで、グループ内外の振付提供を多数手がけているELLY。役者としても活躍するなど、そのフィールドを広げている。そんな彼は、ヒップホップアーティストとしてソロプロジェクト「CRAZYBOY」も展開。9月には、CRAZYBOYの1作目の映像作品である「NEOTOKYO WORLD」をリリース。ダンスだけでなく、その音楽性にも注目が集まっている。

CRAZYBOYとして、そして三代目のメンバーとしての活動や、今後の展開について聞く。



未来の
「NEOT

CRAZYBOYとして9月に初のパッケージ作品「NEOTOKYO WORLD」をリリース。そこにはどんな思いが込められているのか。

「CRAZYBOYは、音楽、ダンス、ラップなど、自分の好きな事やカルチャーを自分なりに作っていきたくてというところから始めたもので、もともとリリースありきではありませんでした。自分が作りたくて作ったものが今回、こうして形になりました。それを、NEOTOKYO WORLDプロジェクトと名付け、東京の音楽、新しいアーティストなどをみなさんにどんどん届けていく。それはCDや音楽だけではなく、映像や、ライブや、アパレルなどいろいろなものを取りこんでいきたい。未来の東京を象徴するようなアーティストとともに、今後もプロジェクトを進めていこうと思っています」

アルバムに収録されているDVDには、CRAZYBOYの初ライブ映像も収録。

「ライブはめっちゃ楽しかった思い出しかない

れたのは初めてだったので、すごくうれしかったですね」

三代目としても活躍中だが、ソロとの違いは？

「結構ありますね。三代目の時は7人それぞれの個性がありつつも、グループとして、各々役割があるので、責任感も あります。他のメンバーがソロでやっている時は、グループとは違うなど、俺が見ていると思う。だから三代目は三代目で、ソロでやるときは違うのが当たり前なので、その時にそれぞれが自分を持って、一人ひとりがスーパースターになることで、三代目はまた成長していくんじゃないかな。今はそれをみんな実感していると思います。それをやらないと、三代目はずっと成長しないと思うので、自分はボーカルと一緒に、特に音楽とダンスを引っ張っていく。その間、他のメンバーが俳優をやるとか、ソロで何かを発信できればいいので、自分はみんなに情報を渡したり、提供したりできればと思っています」



東京を象徴するような「NEOTOKYO WORLD」を作り続けたい

ですね。1時間半自分1人が中心でやっていったんですけど、時間があつという間に過ぎました。一緒に出てくれたアーティストはみな先輩で、すごくリスペクトしている方ばかりでしたが、ものすごい時間をくれました。自分は一番年下でしたが、先輩たちのパワーをもらい、切磋琢磨、刺激をし合いながら、一緒に最高のライブが作れたと思います」

ライブでもそうだが、CRAZYBOYはさまざまなアーティストともコラボしている。

「仕事感覚というより、音楽が好きで、普段からいろいろなことをやりたいと話している人たちが作りました。今市君との楽曲も2人で3〜4年前から“あれ作れたらヤバイよね”って言っていたものです。だから、フューチャリングでやりませんかではなく、プライベートでゼロから作って、人とのつながりで作り上げた。結果すごくいいものが出来たと思います」

ところでCRAZYBOYの由来は？

「なんなんでしょう。自分もわからないけど、CRAZYBOYって呼ばれるようになっていました(笑)。でもこの前LAの友達に、俺がCRAZYBOYというより、みんなをCRAZYにさせているから、そう呼ばれるんだよって言われたんです。みんなを騒がせたり、楽しませたりすることがCRAZYBOYだと。そういう風に言わ

CRAZYBOYとしての今後の目標は？

「音楽を出し続けるのはもちろんですが、ソロツアーもやってみたい。また、いろいろなソロプロジェクトを広げていければ。三代目は三代目でまたツアーをやっていますし、それを終えた後にファンと普通に遊べるイベントのようなことをやって、音楽を届けられたらと思います」

これまで3回岡山を訪れたそうですが、印象は？

「ライブではまだ行ったことがないのですが、ラジオの公開収録でお邪魔しました。1回目は臣(登坂)と一緒に、小さなカフェだったと思います。2回目はとてもたくさんのお客さんに来ていただいて、会場に入りきらなかったんじゃないかな。とにかく、毎回たくさんの方が喜んでくれますし、楽しい気持ちにさせてくれるので、本当に好きな街です。“ひつまぶた”もめっちゃおいしかったので、また食べに行きたい(笑)。機会があれば絶対に行きたい街の一つです」

最後に読者にメッセージを！

「今、三代目はツアーの真っ最中ですし、ソロではCRAZYBOYとして『NEOTOKYO WORLD』もリリースさせてもらいました。これからも、みなさんに笑顔届けられるように、音楽とダンスを頑張るので、応援をよろしくお願いします!」

初のパッケージ作品リリース

CRAZYBOY『NEOTOKYO WORLD』



RZBD-86406 ~ 7/B【DVD2枚組+CD】3500円(本体価格)+税*初回仕様:三方背ケース*初回封入特典:スペシャルフォトブック(40P)、ステッカーシート
RZXD-86408 ~ 9/B【Blu-rayDisc2枚組+CD】4500円(本体価格)+税*初回仕様:三方背ケース*初回封入特典:スペシャルフォトブック(40P)、ステッカーシート

PRESENT

CRAZYBOYからサイン色紙を
読者3名にプレゼント!

応募の詳細は
【P.22】にて。

photography : 宗村 和磨 (NEMURA FILMS)

Special Interview EXILE THE SECOND

人気グループのEXILEを筆頭にしたEXILE TRIBEを担うグループ、EXILE THE SECOND（以下、THE SECOND）が着実に存在感を増している。先日、ニューシングル『ROUTE 66』をリリース。この曲は、10月にスタートする全国ツアーのテーマソングでもあるという。彼らがいま、届けたいこととは。橋ケンチとEXILE SHOKICHIに聞く。

“頭の中で鳴り出した音があって、新しいツアーは前回は超えられるイメージが湧いてきた！”

——EXILE SHOKICHI

THE SECONDへの注目度と需要が上昇しっぱなしだ。EXILE TRIBEにあって、ワイルドさでアピールする“意外と”レアなグループ。彼らは、すでに自身の代名詞ともなりつつあるサマーチューン、それ以外にもアゲアゲのパーティーチューンなど、さまざまな楽曲を通じて、男の魅力をブンブンさせ、女性のみならず男性もトキめかせている。

最新シングル『ROUTE 66』（ルート・シックスティーシックス）では、ロックンロールでファンを腰砕けにする。この曲は、ボーカルのEXILE SHOKICHIが作詞・作曲クレジットに名を連ねている。

EXILE SHOKICHI（以下、SHOKICHI）「この曲は、ツアーのテーマソングなんです。前回のツアーをしている時、ありがたいことに、次のツアーが決まりました。それで、どんなツアーをやろうかなって考える中で、自分の頭の中で鳴り出した音があったんです。それがきっかけというか同

時でもあるんですけど、こうしたらいいんじゃないか、ああしたら今のツアーを超えられるものができるんじゃないかって、イメージが湧いてきたんです。その時点では漠然としたイメージではあったんですが、そのまま、みんなにプレゼンしました」

橋ケンチ（以下、ケンチ）「THE SECONDでは、こうやって進んでいくことが多いです。『ROUTE 66』に限らず、曲に関してはSHOKICHIが“この曲どうです？”ってリードしてくれて、みんなで肉付けしていきます。やりたい演出だったり、コンセプトだったり、それぞれのメンバーのアイデアを随時共有しています。THE SECONDについては、すべて自分たち発信でやっているんで、大切な作業ですね」

ライブがあってこそ生まれた曲。このようにライブを意識した音からのスタートが多いという。

SHOKICHI「イメージしやすいんです。みんなで共有もしやすいしアイデアも浮かびやすい」

ケンチ「浮かび始めたものが定まってくるとスピードも早くなっていくので、SHOKICHIが音にして提案してくれるのは、すごい助かります」

楽曲は、SHOKICHIが1人で米ロサンゼルスに飛んで、完成させた。

SHOKICHI「曲の断片は前回のツアー

新しいツアーのキックオフシングル『ROUTE 66』発売中！！

インタビューでもふれたようにシングル曲は、古き良き時代のロックンロール調。ざらついた風合いの楽曲からは匂いたつダンディズムを感じる。

SHOKICHIは、タイトルトラック、そしてカップリングの『LastGoodbye』の両方で作詞・作曲クレジットに

他クリエイターとともに名を連ねている。

タイトルトラックについては「メロディー、トラック、ビート、パフォーマンス。それにライブでどうなるっていうのが頭にあったので、それを歌詞にした」と言い、この曲のアイデアの断片が生まれ具現化して曲にするとこ

ろまで、一気に進めたようだ。ライブツアーのテーマ曲のような、「こんなライブにしたい」というアイデアで構築された曲からは『ROUTE 66』を愛車で飛ばす、自らのスタイルのある男が浮かぶ。その男は決して欲望を隠したりしない。ストレートでワイルド、だから魅力的だ。

シングルは、3形態でrhythm zoneから発売される。DVDにはタイトル曲のミュージックビデオとライブ映像を収録。EX FAMILY CLUB OFFICIAL CD・DVD SHOP、LDH official mobile CD/DVD SHOPなどで限定発売されるタイプには、シングル制作のドキュメンタリー映像も収録している。

【SG+DVD】3800円、【SG+DVD】3000円、【SG】1000円 ※すべて税込 【SG+DVD】3000円はEX FAMILY OFFICIAL CD・DVD・DVD SHOP、LDH official mobile CD/DVD SHOP、mumo ショップ限定商品

「ROUTE 66」

EXILE SHOKICHI × 橋ケンチ

の早い段階ででき始めていて、ツアー中にトラックメーカーとやりとりしながら制作を進めていました。LAに行ったのはフレッシュな感覚が欲しかったから。ライティングセッションは日本でかなりやっていることもあって変化が欲しかったんです。それで、LAに行ってみよっかって（笑）

ケンチ「SHOKICHIは、LAやアメリカが好きですから、時間さえあれば行きたいっていつも思っていると思いますね。『ROUTE 66』は、コンセプトからも、LAで録ったほうがいい感じもありましたし、行くんだらうなって。SHOKICHIは成長しようとしているんだと思います。僕のイメージとしては、日本とアメリカを歩き来しながら活動して、現地のバイブスを感じながら、バランスとってやっていきたいんだらうなって。そういうSHOKICHIがTHE SECONDにいることは、僕らにとってもありがたいことです。どんどんやってきてください！ よろしくお祈りします！って感覚です（笑）」

LAで得たフレッシュな感覚は期待以上だった。「生みの苦しみがいいんですけど、この曲は、自分のなかでもトップレベルに生みの苦しみがなかった」と、SHOKICHI。

完成した楽曲を聞いてケンチは「ライブ中の風景が浮かんだ」という。

ケンチ「ツアーのメインとなるテーマ曲と聞いていたのもありますが、ここで人が出てきて、ここにメンバーがいてみたいな。舞台全体の絵が見えましたね」

すでに、ツアーのセットリストもフィッ

“メンバー6人それぞれがアーティストであり、クリエイター。THE SECONDはそれを色濃くやっていかなきゃならない”
—— 橋ケンチ

クス。あとは『ROUTE 66』とともに、本番に向かっていくばかりだ。最後に、ツアーのタイトルが66ではなく「6・6」である理由を尋ねた。

SHOKICHI「シックスティーシックスではなくて6人6通り。メンバー6人それぞれにライフワークのようなソロプロジェクトがあります。僕らはアーティストであるけれど、クリエイター集団であるということをお見せしつつ、THE SECONDのエンターテインメントを作り、みなさんに楽しんでいただきたい」

ケンチ「1人のアーティストでありつつグループの一員でもあるってことは、それぞれの活動がグループに還っていくし、その逆もちろんある。それはEXILEで学んだことでもあるんです。THE SECONDは6人がそれを色濃くやっていかなきゃならないと思っています」

6人には6通りのルート、生き方がある。それが集まったときに、THE SECONDのエンターテインメントができる。彼らの“6・6”は近くあなた自身の目で見られる。

撮影・辰根東嗣 スタイリスト/jumbo (speedwheel)、橋ケンチ・ヘアメイク/水野明美 (H.M.C)、EXILE SHOKICHI・ヘアメイク/大木利保



最新アリーナツアー10.28 キックオフ 「EXILE THE SECOND LIVE TOUR 2017-2018 “ROUTE 66”」

全国で40万人以上を動員した初の全国アリーナツアー(5月まで開催)の興奮もまだ冷めないうちに、最新アリーナツアーが決定。10月28日の神戸・ワールド記念ホールを皮切りに、長野、愛知、福井、北海道など全国10都市を

巡る(9月7日現在)。関東圏は、年明け2018年1月31日、2月1日のさいたまスーパーアリーナ。メンバーは本ツアーについて、「6人それぞれが進む道には、6人それぞれの物語がある。だけど、その道は、ひとつの未来へ辿り着く。

さあ、新たな旅を楽しもうぜ」とコメントしている。セカンドの新しい旅、メンバー6人それぞれの旅、重なり融合する6つの人生の旅を見届けて。

OKAYAMA MOVE UP PRESENT'S

MOVE UP MOVIE

powered by



人生が「アがる」作品を、あなたに。

vol.14

ハロウィンに仮装したくなる映画

今年もまもなくハロウィンの季節!!今年のハロウィンも最高に楽しむべく、

仮装したくなる作品をピックアップ!!



Title
スーサイド・スクワッド
Maker
ワーナー・ブラザーズ ホームエンターテイメント

Comment from TSUTAYA
『やっぱり、ハーレイ・クイン!』

アメリカで大人気のDCコミックスに登場するヴィラン(悪役)が揃ってバトルを繰り広げるアクション。『バットマン』シリーズのジョーカーやハーレイ・クイン等、アンチヒーローたちの個性的なキャラクターやその出で立ちがとにかくカッコイイ!仮装の参考にもぴったりですよ!

SUICIDE SQUAD and all related characters and elements are trademarks of and © DC Comics. © 2016 Warner Bros. Entertainment Inc. and Ratpac-Dune Entertainment LLC.



Title
ティム・バートンのコープスブライド 特別版
Maker
ワーナー・ブラザーズ ホームエンターテイメント

Comment from TSUTAYA
『人気の「花嫁ゾンビ」と言えばコレ』

鬼才ティム・バートンが贈る、ブラックユーモアたっぷりのファンタジーアニメ。人間とゾンビの奇妙なラブストーリーを描いているのですが、「花嫁ゾンビ」と言えば本作。切ないストーリーは単純に映画としてもオススメです!

© 2005 Warner Bros Entertainment, Inc. All Rights Reserved.



Title
スクリーム4: ネット・ジェネレーション
Maker
カルチュア・パブリッシャーズ

Comment from TSUTAYA
『インパクトはトップクラス』

先の読めない展開のホラー感と、映画ネタを織り交ぜた脚本は映画としても面白いです。映画のような恐怖を一度見たら忘れられないマスク姿でぜひ、再現してみたいかがでしょうか!?

© 2011 The Weinstein Company LLC. All Rights Reserved.



Title
エルム街の悪夢
Maker
ワーナー・ブラザーズ ホームエンターテイメント

Comment from TSUTAYA
『ユーモアがないフレディが怖い』

ウェス・クレイヴン監督による同名人気ホラーのリメイク作。賛否両論ありますが、以前のフレディは笑い恐怖を混在したような存在でしたが、本作はより残忍に。インパクト大のキャラクターをぜひ仮装の参考に。

© 2010 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.



Title
キック・アス
Maker
カルチュア・パブリッシャーズ

Comment from TSUTAYA
『真似したくなるキャラクター』

コミックオタクで平凡な高校生が、自ら「キック・アス」と名乗り、ヒーロー活動を開始するアクション作。映画としての面白さも折り紙つきですが、キック・アスの魅力的なキャラクターはコスプレにぴったり!

© 2009 KA FILMS LP. ALL RIGHTS RESERVED.



Title
ハロウィン
Maker
NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン

Comment from TSUTAYA
『ハロウィンと言えば、外せない作品』

ホラー映画史上に残る不朽の名作のリメイク版。ハロウィンの日に恐怖の殺人鬼となった男を描いていますが、白いマスクにポロポロのつなぎという「ブギーマン」はコスプレでも根強い人気のキャラクターです。

© 2007 The Weinstein Company, LLC. All rights reserved.



8.5

URAJA GARDEN NIGHT

at SHIMOISHII PARK



OKAYAMA MOVE UP × Leola SPECIAL STAGE

URAJA × DANCE EARTH

OKAYAMA MOVE UP、うらじゃ初となるコラボ『OKAYAMA MOVE UP×Leola SPECIAL STAGE』そして『うらじゃ ×DANCE EARTH』が8月5日下石井公園ガーデンナイトうらじゃ特設ステージにて行われた。約1000人もの来場者で覆い尽くされた会場で、まず Leola がスペシャルステージ『Let it fly』、『コイセヨワタシ。』を披露。Leola の青空に抜ける透き通った歌声に続々と人が集まっていた。彼女のステージの後は DANCE EARTH PARTY のライブが行われた。この夏のシングル『POPCORN』では来場者と一緒にうらじゃタオルを回し、一気に会場を沸かせた後『NEO ZIPANG ～UTAGE～』を披露。おなじみの“ハクルダンス”が行われると会場後方にいた来場者も足を止め一緒に“ハクルダンス”を楽しむ姿があった。またこの日は岡山市から大森市長も温羅化粧で会場に駆けつけた。最後に EXILE ŪSA より岡山市長に『是非来年も一緒に!!』と投げかけ、市長もそれを喜んで承認する姿があった。



photography : Yoshifumi Nishihira

9.29 CRAZYBOY SPECIAL EVENT

岡山しっかり



TOTAL BEAUTY
PRIMARY

TYPEX co.,Ltd.

VERTICE

Lee GROUP

株式会社 石井事務

してるでしょ!

THANKS!!



機センター 株式会社 祥 special partner コカ・コーラ ウェスト株式会社 イオンモール岡山

photography : 宗村 和磨 (NEMURA FILMS)

9.29 CRAZYBOY

JAPAN MOVE UP special edition 13
PHOTO REPORT



事前抽選で当選した、600名だけが体験した「史上最高」の一日。
笑いあり、感動あり、熱狂あり。誰をも「クレイジー」にさせる CRAZYBOY。
CRAZYBOYの凄さをこのページで是非、感じとっていただきたいです。



All-time!! CRAZYBOY

Rise!

OKAYAMA MOVE UP 2017

ダンス・BMXなど様々なストリートカルチャーを横断的に融合させ
岡山のストリートカルチャーをより盛り上げます。

01
interview

STREET

菱川 一心



岡山で、もしくは岡山を拠点として活躍する
企業や企業人にスポットを当て、認知を広めていきます。

02
interview

NEXTER
植田 和幸

音楽・文化・美容など様々な業界で活躍する人たちをピックアップし、
考え方、生き方などを発信していきます。

03
interview

ARTIST

H!dE



OKAYAMA MOVE UPは更なる活動の浸透と広がりを実現するために、
より具体的かつ大胆に様々なジャンルの“Rise!〜上昇〜”をバックアップしていきます。
Rise!の先には必ず人間の生きる意味、生まれてきた理由が見えてくると確信しています。

01
interview

Rise!
OKAYAMA MOVE UP STREET

ブレイクダンスU-15 日本一

菱川 一心

ずっとトップを走り続けられるように頑張っています。

——ブレイクダンスをはじめたきっかけを教えてください。

5歳から小学2年生までサッカーをしていました。その頃、お姉ちゃんがJAZZダンスをしていてダンスが身近だったので僕もダンスには興味がありました。一度JAZZダンスの体験レッスンを受けてみましたが、僕にはしっくりきませんでした。ブレイクダンスを、時々TVなどでみてかっこいいなと思っていて、お父さんがブレイクダンスのスクールを調べてくれて通い始めたのがブレイクダンスをはじめたきっかけです。

——ブレイクダンスの魅力はなんですか。

ブレイクダンスの技は、日々進化していてこの技が出来たと思っててもまた次にかっこいい技が生まれたりと常に新しくとどんどん挑戦していくことが楽しいです。魅力だと思います。その他には、人と話すことが苦手だと思っていたんですけど、ダンスを通していろんな人とコミュニケーションを取ることができ、日本全国に友達が出来たことも魅力というかやりがいのひとつで周りからたくさん刺激をもらっています。

——日本一になった時の思い、今後の夢を教えてください。

出場する前は、この大会で優勝したらやばいだろうなと思っていたんですけど、いざ日本一になった瞬間は実感がなくてその日の夜くらいから実感が湧いてきてやべえ!ってなりました。(笑) 15歳まで出場できるので今後も優勝を狙っていきます。優勝したからそこで納得してしまって終わりじゃなくて、今回負けた人達もとどんどん練習して上に上がってくるのでその人達に負けないようにすることはもちろん、ずっとトップを走り続けられるように頑張ってお世界でも有名なダンサーになりたいです。

——岡山を盛り上げていくためにやりたい事を教えてください。

日本の大会や大きなバトルで優勝して岡山をレベゼンしてって、岡山ってすごい!やばい!ブレイクダンスといえば岡山だよねと言われるようにしたいです。そして、岡山でブレイクダンスをはじめた子が僕みたいになりたいと思ってくれるような目標とされるブレイクダンサーになってたくさんの人にブレイクダンスを知ってもらいたいです。

photography : 古川 正人 (+huit プラス ユイット)



菱川 一心
(Hishikawa Isshin)

岡山県出身。2005年5月1日生まれ。
小学2年生からブレイクダンスをはじめ。
小学3年生でBATTLE GARDEN BEST8など岡山でのイベントにとどまらず近畿など県外のダンスバトルへも積極的に参加。数々の好成績を残す。7月17日、神奈川県CLUB CITTA'で行われたBattle Of The Year 2017「BOTY U-15 BREAKING SOLO BATTLE」にて優勝、日本1位となった。

02
interview

Rise!
OKAYAMA MOVE UP NEXTER

——焼肉店（飲食業）を始めたきっかけはなんだったんでしょうか？

もともと建設業をしていました。料理が得意で自分が作った料理を“美味しい”と言って食べてくれる姿を見て、20代の頃から飲食業をする夢があり、たくさんの人に食べてほしいと思っていました。長年研究して美味しく出来た特製ダレを使用した鍋と大好きな焼肉を提供できるお店を出したいという思いから始めたのがきっかけです。場所はずっと探していて、7月にお店を開くことが決まり、急ピッチで工事など進めて今年の8月29日にオープンしました。

——『番長』というお店の由来はなんですか？

番長にもいろんな意味があると思うんですけど、岡山のお店の中でも一番になりたいという思いでこの店名をつけました。また、もともと仲の良い友達の間で番長と呼ばれていたのも一つの理由で、この地域で愛される番長になりたいという思いで“番長”になりました。

——飲食店をやって良かったと感じるのはどんな時でしょうか？

お客様に“美味しかった!”、“また、来ます!”などと言っていて嬉しくて帰られる瞬間にやっていて良かったと感じます。もう一つは、地元で開店したということもあり、このお店がお客様同士の交流の場になっていたり、懐かしい人が集まり、楽しく過ごしている姿を見ると喜びを感じます。

——“番長”ならではの強み、こだわりはありますか？

タレにこだわっています。『番長ダレ』という味噌ベースの甘辛ダレなのですが、このタレをベースに『番長鍋』、『番長サラダ』ができ、万能ダレとして活用しています。7・8年前からタレを研究して今の番長ダレにたどり着いたのですが、今もまださらに良い番長ダレを作るために研究は続いています。

——今後の夢や目標を教えてください。

お客様に愛される地域密着型のお店にしていきたいです。気持ち的には二号店も出せるようにしたいですけど、飲食店初心者なので今を一生懸命やって初心を忘れずにこれからもやっていきたいです。夢は、『番長ダレ』を商品化してたくさんの方に食べていただくことです。

こだわり抜いた『番長ダレ』
是非一度、ご賞味ください。

焼肉番長オーナー

植田 和幸

こだわりの番長ダレを使用した、名物“番長鍋”

甘辛ダレのホルモン鍋です。具材は、ホルモン・にんにく・こんにゃく・白菜・じゃがいも・しめじ・餃子など他にもたくさんの野菜ときのご類が豊富に入っています。男の料理というイメージがピッタリな鍋になっています。追加トッピングとしてお肉など焼肉の具材なども入れていただけます。ホルモンにもこだわってとにかく脂のつったホルモンを選んで取り寄せています。辛さも3段階から選べてどなたでも食べていただける鍋です。メのおすすめは『チーズリゾット』です。番長ダレとチーズの相性が抜群で鍋とはまた違った味で楽しんでいただけます。是非、メに召し上がってください。



焼肉 番長

【営業時間】17:30～23:30

【定休日】不定休

【住所】岡山市北区神田町1-12-14

【連絡先】086-233-0015

【駐車場】有り

お車でお越しの際は店員にお声掛けください。



photography : Yoshifumi Nishihira

03
interview

Rise!
OKAYAMA MOVE UP ARTIST

玉川洋輔 (以下、玉) : HiDe さんが音楽、ミュージシャンを始めたきっかけを教えてください。

HiDe (以下、H) : 元々音楽を始める前はストリート LIVE を見に行く側、お客さんの立場でした。ストリート LIVE を見ているうちに自分も音楽で想いを届けたい、聴かせる側に立ちたい、そんな思いが強くなり、音楽の専門学校へ通うようになったのがきっかけでした。その専門学校で出会った相手とユニット活動を始めて5年ほど必死に活動しましたが結果がでず、休止に。そこから HiDe としてソロ活動を始めて今に至ります。

玉 : 自身の作品をなぜ『YouTube』にアップしようと思ったのですか？

H : ユニット活動を休止した時、最初はソロ活動を考えていなくて、とりあえず1曲作ってみようと思い、出来た曲が『晴れのち曇り』でした。この曲が完成した時に、少しでも沢山のの人に聴いてもらいたいと思い『YouTube』にアップしたのですが、その時はそれが後に話題になるなんて思ってもいませんでした (笑) ただ、アップしたからには沢山のの人に聴いてもらう為に、ブログを書いて『YouTube』の曲を貼付けたり、タイトルを変えてみたり、試行錯誤を毎日積み重ねて継続してきました。その後『カタチない恋』という曲が『失恋ソング』というワード検索で引っかかるようになり、その後『PinkyRing』という曲から始まるアニメーションの連作動画が話題となり1日1万回以上と再生回数も伸びるようになりました。そこから全国各地でストリート LIVE などを勢力的に行い、全国ツアーも開催出来るようになりました。今まででは考えられなかったこと

が『YouTube』によって現実になりました。

玉 : HiDe さんがアップした頃はまだ『YouTube』もそんなにメジャーではなかったですよね？

H : そうですね。僕たちインディーズの人たちが少しアップしているかな?ぐらいでした。今はどのアーティストもプロモーションのツールとして使用されていますね。

玉 : そういえば、『HiDe』という名前や表記はご自身で考えたのですか？

H : そうです。検索ワードにひっかかりやすいようにアーティスト名を工夫したりしました。『i』を『!』にしているのもそうです (笑) 元々、ユニット時代の名前のまま『HiDe』でソロ名義を考えていたのですが、他の方と被っちゃうかなって (笑) 検索にひっかからないと意味がないですね。

玉 : 音楽をやっていて、どんな時によかったなと感じますか？

H : 曲や想いが聴いてくれるみんなに届いたと実感するときですかね。曲を聴いて涙を流していたり、曲に共感して前向きになってもらえたり、そういった光景を見て届いているなって実感出来た瞬間は音楽をやっているよかったですね。

玉 : HiDe さんは現在東京を拠点にしながらも、地元は岡山ということで、これから音楽を通して岡山に携わっていききたいことはありますか？

H : やっぱり生まれ育った街、岡山には思い入れも凄くあり、大切な場所でもあります。まだまだ力不足ですが、音楽を通じてみなさんと一緒に岡山を盛り上げていけたらなと思っています。先日、岡山の『倉敷ふるさと大使』にも就任することもできましたしね (笑)

玉 : 夢をもち頑張っている人や、夢はあるけど何からしていけばいいかわからない。これから将来を担っていく、そんな若い世代のみなさんに、メッセージをいただけますか？

H : 岡山という場所に住んでいて夢が遠い物語になっていたり、なかなか行動に移せなかったり叶わない夢だと諦めている人たちが実際、沢山いると思います。ですが、岡山に住んでいた普通の高校生が今、『HiDe』として音楽を届ける側の立場に立っていて、東京で頑張っているという僕の今の現状があるので、夢を持っているみんなには何があっても諦めず前に向かって進んで欲しいと思います。最近の若い世代の人たちは、夢を持っていないかったり、やりたいこともない人が増えているように感じますが、もっと沢山色々なことに挑戦して、輝ける何かを見つけて欲しいですね。挑戦していく中でやりたいことや夢は必ず見つかると思います。色々な夢や目標に向かってる人たちがみなで岡山をもっと活気づけていきたいと思うので一緒に頑張りましょう!

玉 : 最後に HiDe さんにとって、音楽とは？

H : 僕にとって音楽は、届けるためのツールです。目に見えない想いや感動を、言葉や行動で届けられないものを音楽というカタチで沢山の人たちに届けていきたいです。僕にとって音楽はみなさんとのコミュニケーションでもあり、なくてはならないものです。これからも音楽を通して、沢山想いや感動をみなさんに届けていきたいです。

岡山生まれの
シンガーソングライター
玉川 洋輔が聞く!
第19弾

岡山出身の
シンガーソングライター

HiDe
(ヒデ)

目には見えない想いや感動を
音楽というカタチで届けたい!

Guest

HiDe ヒデ (写真 右) シンガーソングライター

「うたものがたり」という全3作からなる恋愛ソングが女子中高生たちを中心に話題となり、YouTubeでの合計視聴回数が約2000万回超という驚異的な視聴回数を記録するなど、今最もホットで注目すべきシンガーソングライター HiDe (ヒデ)。2016年「うたものがたり2」をワーナーミュージック・ジャパンよりリリースし、オリコンTOP30入りを記録!勢いの止まらない HiDe に業界からも注目が集まる!!現在全国11箇所ワンマンツアー中!!岡山公演にて倉敷ふるさと大使就任のお知らせもあり、地元岡山での HiDe の今後の活躍にどうご期待。

Twitter ID @HiDe_228

LIVE 情報 : HiDe 全国ワンマンツアー 2017-2018
12月29日 (金) 岡山公演 @CRAZYMAMA KINGDOM

Interviewer

玉川 洋輔 (写真 左) シンガーソングライター

1stシングル「雨」発売中!二度と繋がれない君を想い続けるもう叶わないとわかっていても、儚くも切ない極上のバラードソング。

facebook・Twitter・Instagram:
玉川洋輔で検索



Passerelle
entertainment

撮影 : Ryo Oonishi
Instagram : @Passerelle_entertainment

OKAYAMA MOVE UP 学生チームが岡山県内で活動する
学生団体にスポットをあてて紹介していきます。

学生から
岡山を
元気に!!



【ドロシー】

Dorothy

岡山大学繊維服飾研究会

岡山大学の部活動として『岡山の街をファッションで盛り上げる』をモットーに活動をしている『Dorothy』。主な活動は、ストリートスナップの撮影やフリーマーケットへの参加、年3回のフリーペーパー発刊、周年パーティーなどを開催し、学生から岡山のファッションカルチャーを盛り上げる。



なりたい。

きっかけに

おしゃれをする

誰かが



Dorothy 代表
水嶋 晴菜 (岡山大学3年生)

岡山のファッションを楽しく!

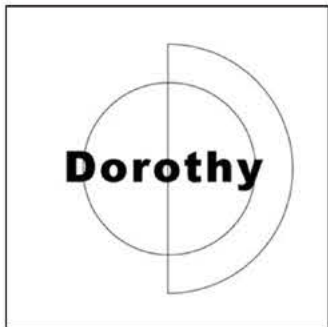
岡山は私たちが思っている以上におしゃれな人が多くて、最近特に私たちよりも下の世代の人たちがすごくファッションに興味を持っているなど感じる事があります。実際に、『Dorothy』も出店しているフリーマーケットにもたくさんの高校生が来てくれたりするので、そういった面からもこれからは若者が岡山の街をファッションで盛り上げて行かないといけないと思っています。私たちよりも下の世代や同世代の人たちにもファッションの楽しさを伝えていきたいと思います。

Dorothyをきっかけにして!

岡山にはこんなにたくさんおしゃれな人がいるんだ!と思ってもらうために、SNSでストリートスナップを発信しています。おしゃれって1人でも出来るんですけど、やっぱり誰か見てもらって相手だったり、見せたい相手がいる方が楽しいと思うので、SNSやスナップ撮影を通してたくさんの人に出会えたり、お店に行ったら、『Dorothy』きっかけで繋がりができるようなそんな存在になりたいです。ファッションでたくさんの人と繋がれる喜びを発信していきたいです。

フリーペーパーに込めた想い

年3回、私たち学生が撮影から制作・編集まで全てを担当するフリーペーパーを発刊して、ファッションスナップフリーペーパーとして岡山大内や岡山県内の古着屋さんに設置していただいています。ファッションスナップを多く掲載している、巻末には各店舗の紹介ページや地図も掲載しているので、『Dorothy』を持っていたら、“見ていたら”おしゃれなお店に行けると思ってもらったり、お店を紹介してファッションに興味を持ってもらいたいという思いからフリーペーパーを発刊しています。



SNS

SNSをフォローしてDorothyの最新情報をチェック!
岡山の街を彩るたくさんのスナップ写真や古着屋さんの紹介など、色々な情報が盛りだくさん!



FREE PAPER

Dorothy / 年3回発行

年3回発行のフリーペーパーは撮影から制作・編集まで全てを学生が手がけ、発行している。ストリートスナップ、店舗情報、MAPまでついていてとっても便利な一冊!



インタビューにご協力いただける学生団体、サークル募集中!お気軽にお問い合わせください!

いよいよ来月、10月の14、15日に千葉県の幕張にて開催する『DANCE EARTH FESTIVAL 2017』や、10月末から始まるEXILE THE SECOND LIVE TOUR 2017-2018「ROUTE 6・6」のリハーサルがスタートしました！間違いなく怒涛な毎日になりますが（笑）、ドキドキ＆ワクワクしています。

DANCE EARTH FESTIVALは昨年初めて開催して、最高の天気にも恵まれて、たくさんの方々に喜んでもらえた一日をお届けすることができましたが、今年は開催日程が2日間とパワーアップしてさらに多くの皆さんに楽しんでいただける場所と時間と音楽とDANCE、食べ物、飲み物を用意して、“おもてなし”したいと思っています。14日のヘッドライナーにはGENERATIONS from EXILE TRIBE、そして15日にはEXILE THE SECONDがヘッドライナーとして出演するので見逃せませんね!! …そうなんです15日はダブルヘッダーなんです（笑）。そしてDANCE EARTH PARTYとしては今年も開会宣言から最後まで、フェス全体を通して神出鬼没に、いろいろなブースやステージに現れて盛り上げていこうと思いますし、今年の夏にいろいろな各地のフェスやお祭りでパフォーマンスしてきた集大成となるLIVEをお届けしようと、USAさんもShizukaちゃんも気合入っていますので僕らの音楽の旅を二日間通して体感しにきていただきたいです！

そして昨年の10月から今年の5月まで行われたEXILE THE SECONDの全国アリーナツアー“WILD WILD WARRIORS”から早いもので半年が過ぎ、この短期間のうちにまた全国ツアーができることは本当に幸せなことだと思いますし、日頃から応援してくださっている皆さんのおかげだと心から感謝しております。先日メンバーやスタッフさんとツアーの顔合わせをした後に、決起食事会をしたのですが、何年もの間、LDHアーティストのLIVEを作ってくださってる方や、前回の

ツアーのスタッフさんがほとんどで本当に力強く、心強いです。職種は違えど、皆さん物作りのプロで、本当にその仕事が好きで楽しんでやっていることが伝わってきて話が尽きませんでしたし、楽し過ぎて少々飲み過ぎてしまいました（笑）前回のツアーはうれしいことにスタッフさんも含めて、たくさんの皆さんに喜んで頂けたものになりましたが、EXILE THE SECONDの色がしっかりと提示することができたので、今回のROUTE6・6へのプレッシャーもメンバーみんなが感じているのですが、とにかく音楽を楽しんでDANCEを楽しんでいる姿を全国の皆さんに伝えて、心から楽しいと思っていただこうとこちらも気合入っていますので、ぜひお楽しみに!!

自分は幸せなことに、EXILE THE SECONDもDANCE EARTH PARTYも兼任しているのでDANCEをする機会をたくさん与えていただいています。これも自分がDANCEを始めて、夢を持ち、夢を叶え続けさせてもらっているからだと思えますし、それはすべてEXILEの存在のおかげだと改めて感じています。先輩方がいて、僕らがいて後輩たちがいることが、僕の踊る意味にもなっていますし、誇りです。

来年2018年はいよいよEXILE再始動の年です。その近い未来をリアルに感じながら今できることを一生懸命にやらせていただいて、さらに大きなパワーを持って、LOVE DREAM & HAPPINESSを、皆さんにお届けしたいと本気で思っていますので、この先もぜひ安心してLDHエンターテイメントについていただけたらと思います。

夏も終わり、2017年の終盤も感じてきました！1日1日を大切にしながらこの先も自分の好きなこと、やりたいことを思いっきり楽しみたいと思いますので、皆さんも体調には気をつけて、お仕事や、勉強など頑張ってください（^o^）v

(TOKYO HEADLINE vol.698 2017.9.11 発行号より)



19歳よりダンスを始め、EXILE PROFESSIONAL GYMにてインストラクターを務める。2007年に、二代目J Soul Brothersのメンバーに抜擢され、2009年2月25日に、アルバム『J Soul Brothers』でメジャーデビューを果たす。そして、同年3月1日にEXILE新メンバーとして加入し、2011年には、THE SECOND from EXILEとしても活動を始める。また、個人活動として2011年に月刊EXILEにて、自身が所長を務める『EXILEパフォーマンス研究所』の連載を開始する。2013年、眠り of the year 2013「ベストネムリスト」の受賞を果たす。2014年4月、淑徳大学文学部表現学科の客員教授に就任する。そして、2015年4月にEXILE USAが活動を行っているDANCE EARTH PARTYの正式メンバーに選ばれる。そのほか、役者としてドラマや舞台に出演するなど、さまざまな活動を展開し、エンターテイメントの可能性を広げている。

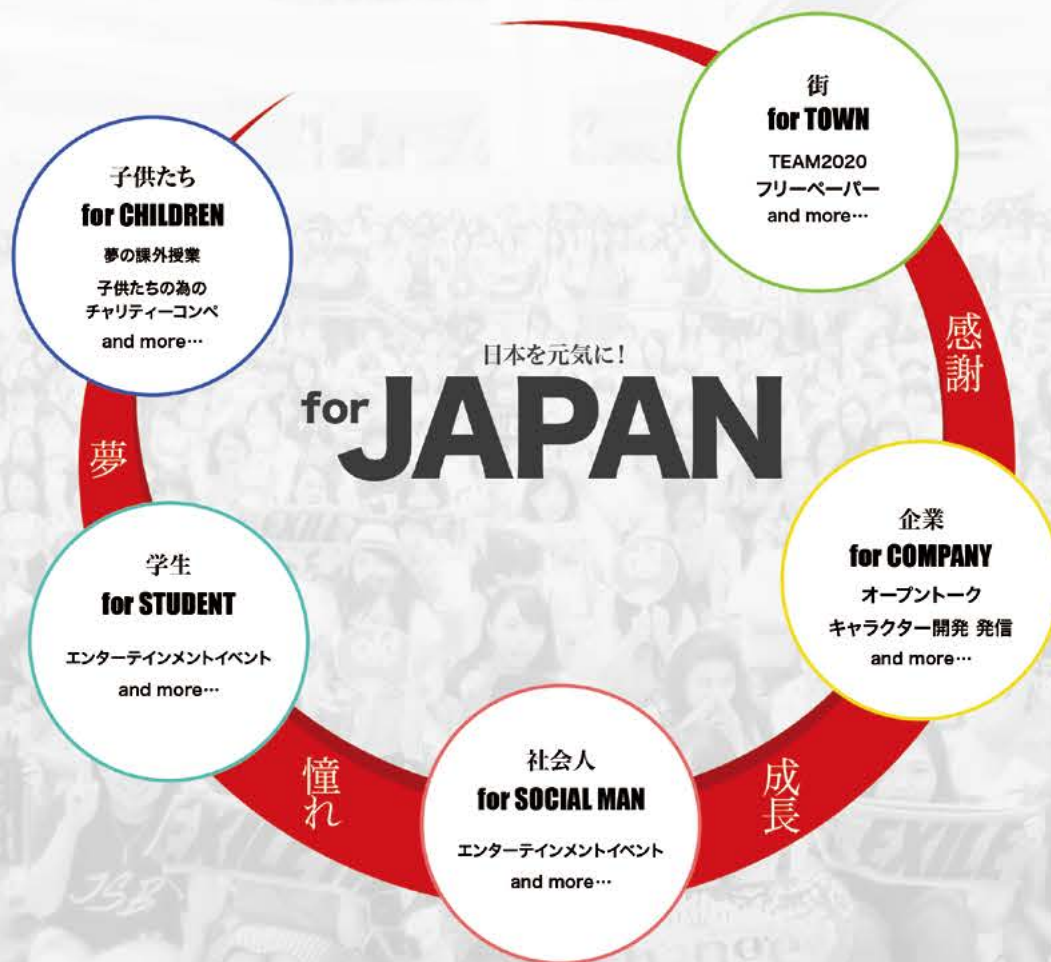
OKAYAMA MOVE UP

岡山から日本を元気に!

「岡山を元気に!」「岡山から日本を元気に!」をコンセプトに、フリーペーパーOKAYAMA MOVE UPの発行をはじめとし、各種イベントを実施するなどエンターテインメントを中心に岡山を盛り上げる活動を行っています。
この活動が意義あるものとして皆様方によりご賛同頂けるよう、「岡山県民が元気になる」「岡山県民が岡山を好きになる」「他府県の方々が岡山の良さを知ってもらう」事を目的としています。

「日本を元気にする為に、まずは岡山が元気になるう!」

その為に何が必要か?子供たちに「夢」を、若者に「憧れ」を、社会人に更なる「成長」を与え続ける...それが企業を街を発展させ、岡山を元気にしていく事だと確信します。
さらに TOKYO MOVE UP との連携による中央とのネットワークを生かしたコンテンツを創造し、若年層への「認知の拡大と巻き込み」を実現します。
また地方創生のモデルのひとつとして「社会的活動」と「エンターテインメント」、「スポーツ」の融合による岡山を元気にするプロジェクト、それが OKAYAMA MOVE UP です。



OKAYAMA MOVE UP実行委員会 加盟企業一覧 (2017年10月11日現在)

TYPEX co.,ltd. VERTICE Lee GROUP 「働くに笑顔を!」株式会社 石井事務機センター

KIRIN

株式会社 安田商事運輸

SAITO PRINTING CO., LTD.

株式会社エムシーエム

株式会社 祥

株式会社DMM.com

アシード株式会社

special partner

Coca-Cola West

イオンモール岡山

54 JAPAN MOVE UP WEST

OKAYAMA MOVE UP

隔月誌【オカヤマ ムーブアップ】 2017年10月11日発行 vol.28 OCTOBER

- 発行人／源 眞典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
- 発行所／株式会社HEADLINE WEST
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング4F TEL:086-250-8089
- 編集・製作／株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/VILピソソ3 403号

